

## C：健全な事業経営

### 健全かつ安定的な事業経営を継続する

#### ◆ 財務

#### (1) 健全運営

C101	営業収支比率 (%)	営業収益の営業費用に対する割合 (%) を示す。この値は100%以上であることが望ましい。
C102	経常収支比率 (%)	経常収益の経常費用に対する割合 (%) を示す。この値は100%以上であることが望ましい。
C103	総収支比率 (%)	総収益の総費用に対する割合 (%) を示す。この値は100%以上であることが望ましい。
C104	累積欠損金比率 (%)	累積欠損金の受託工事収益を除いた営業収益に対する割合 (%) を示す。累積欠損金とは、営業活動の結果生じた欠損金を当該年度で処理できなかった結果、複数年度に渡って累積したものである。この値は、0%であることが望ましい。
C105	繰入金比率 (収益的収入分) (%)	損益勘定繰入金の収益的収入に対する割合 (%) を示す。水道事業の経営状況の健全性、効率性を示す指標の一つである。この値は低いほうが独立採算制の原則に則しているといえる。
C106	繰入金比率 (資本的収入分) (%)	資本的勘定繰入金の資本的収入に対する割合 (%) を示す。水道事業の経営状況の健全性、効率性を示す指標の一つである。この値は低いほうが独立採算制の原則に則しているといえる。
C107	職員一人当たり給水収益 (千円/人)	損益勘定所属職員一人当たりの生産性について、給水収益を基準として把握するための指標である。この値は大きい方がよい。
C108	給水収益に対する職員給与費の割合 (%)	職員給与費の給水収益に対する割合 (%) を示す。水道事業の効率性を分析するための指標の一つである。この値は低い方がよい。
C109	給水収益に対する企業債利息の割合 (%)	企業債利息の給水収益に対する割合 (%) を示す。水道事業の効率性及び財務安全性を分析するための指標の一つである。この値は低い方がよい。
C110	給水収益に対する減価償却費の割合 (%)	減価償却費の給水収益に対する割合 (%) を示す。水道事業の効率性を分析するための指標の一つである。この値は低い方がよい。
C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合 (%)	企業債償還元金の給水収益に対する割合 (%) を示す。企業債償還元金が経営に与える影響を分析するための指標である。この値は低い方がよい。
C112	給水収益に対する企業債残高の割合 (%)	企業債残高の給水収益に対する割合 (%) を示す。企業債残高の規模と経営への影響を分析するための指標である。この値は低い方がよい。
C113	料金回収率 (%)	供給単価の給水原価に対する割合 (%) を示す。水道事業の経営状況の健全性を示す指標の一つである。料金回収率が100%を下回っている場合、給水にかかる費用の一部が料金収入以外の収入で賄われていることを意味する。
C114	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	有収水量 (年間の料金徴収の対象となった水量) 1m <sup>3</sup> 当たりについて、どれだけ収益を得ているかを示す。供給単価は、低額である方が水道サービスの観点からは望ましいが、水道事業の事業環境には大きな差があるため、単純に金額だけで判断することは難しい。
C115	給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	有収水量 1m <sup>3</sup> 当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを示す。料金水準を示す数値としてみれば、給水原価は安いほうが、水道事業体にとっても水道使用者にとっても望ましいが、給水原価は水源や原水水質など水道事業環境に影響を受けるため、給水原価の水準だけでは、経営の優劣を判断することは難しい。

C118	流動比率 (%)	流動資産の流動負債に対する割合 (%) を示す。流動比率は民間企業の経営分析でも使用される指標で、水道事業の財務安全性をみる指標である。この値は100%以上で、より高い方が安全性が高い。
C119	自己資本構成比率 (%)	自己資本金と剰余金の合計額の負債・資本合計額に対する割合 (%) を示す。財務の健全性を示す指標の一つである。この値は高い方が財務的に安全といえる。
C120	固定比率 (%)	固定資産の自己資本金と剰余金の合計額に対する割合 (%) を示す。固定比率は、民間企業の経営分析にも使用されており、自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを見る指標である。一般的に100%以下であれば、固定資産への投資が自己資本の枠内に収まっていることになり、財務面で安定的といえる。
C121	企業債償還元金対減価償却費比率 (%)	企業債償還元金の当年度減価償却費に対する割合 (%) を示す。投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標である。一般的に、この指標が100%を越えると再投資を行うに当たって企業債等の外部資金（企業債等）に頼ることになるため、100%以下であると財務的に安全といえる。
C122	固定資産回転率 (回)	受託工事収益を除いた営業収益の年度平均の固定資産額に対する割合 (%) を示す。つまり、固定資産が期間中に営業収益によって何回回収されたかをしめすものであり、固定資産の活用の状況を見るための指標である。この値は大きい方がよい。
C123	固定資産使用効率 (m3/万円)	給水量の有形固定資産に対する値 (m3/万円) である。この値が大きいほど施設が効率的であることを意味するため、値は大きいほうがよい。

## ◆ 組織・人材 (2) 人材育成

C201	水道技術に関する資格取得度 (件/人)	職員が一人当たり持っている法定資格の件数を示す。この指標は、職務として必要な資格（例えば、電検、高圧製造保安責任者など）を取ることで職員員の資質の向上を図る。
C202	外部研修時間 (時間/人)	職員一人当たりの外部研修を受けた時間数を示す。この指標は、職務に関する外部研修を受けることにより職員員の資質の向上を図る。
C203	内部研修時間 (時間/人)	職員一人当たりの内部研修を受けた時間数を示す。この指標は、職務に関する内部研修を受けることにより職員員の資質の向上を図る。
C204	技術職員率 (%)	技術職員総数の全職員数に対する割合 (%) を示す。この指標は、技術的業務の直営維持が難しくなっている現状と関係が深い。
C205	水道業務平均経験年数 (年/人)	職員が平均何年水道業務に携わっているかを示す。他部局との人事交流により水道業務の経験の少ない職員が増えている。この指標は水道業務の職員員の習熟度と関係が深い。
C206	国際協力派遣者数 (人・日)	協力した人数と滞在日数の積の合計で示す。この内容は、定義が難しく外面的な指標となっている。
C207	国際協力受入者数 (人・日)	受け入れた人数と滞在日数の積の合計で示す。この内容は、定義が難しく外面的な指標となっている。

## (3) 業務委託

C302	浄水場第三者委託率 (%)	浄水場の運転管理を委託した浄水能力の総浄水能力に対する割合 (%) を示す。この指標の値の高いことは、一般に技術職員数の減につながっている。
------	---------------	--

## ◆ お客様とのコミュニケーション (4) 情報提供

C402	インターネットによる情報の提供度 (回)	インターネットによる水道事業の情報発信回数を示す。お客様に対する事業の理解促進や透明性の確保につながるため、この値は高いほうがよい。
------	----------------------	--